



音楽運動



日本音楽協会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

いつになっても立ち直れるの

5・3憲法大行動WEBコンサートに参加して

日音協のみなさん、コロナとの闘いお疲れ様です。

日音協長野支部、そして林野芳組の宮沢英明です。

5・3憲法大行動WEBコンサートに、2016年の久慈音楽祭で林野芳組として発表させていだいた「春を待つ町」で参加させていただきました。

林野芳組は北は北海道から南は名古屋近辺までメンバーが散らばっているため、音楽祭の練習は2、3日前に集まったの直前練習しかできません。苦肉の策として

考えたのが、YouTubeでの音楽配信でした。

PC打ち込みメロディーに歌詞と関連する写真をスライド風にしてYouTubeに載せる…。この動画はこのリメイク版に自分の歌声を被せる形で坂口さんに編集していただいたものです。

自分は久慈音楽祭のあった2016年の秋、初めて福島を訪れました。葛尾村、双葉町、浪江町、等々…。

衝撃を受けた光景は、峠を（長野県出身者にとっては、『丘』のよ

うなものでしたが…ひとつ隔て、右側は稲穂がたわわに実り、左側は荒れた田畑とフレコンバッグの集積地が広がる、このギャップでした。

放射能汚染の恐ろしさを感じました。いつまでこの光景が続くのだろうか。「春を待つ町」を作ったのはこの旅の数ヶ月前でしたが、改めて「春の訪れ」の遠いことを実感した瞬間でした。

その2年後の2018年、何故か再び福島へ行きたくなり、3連休を使っての自家用車での一人旅。

請戸の浜や双葉、浪江町近辺をじっくりと見て廻りました。

浪江商店街には7年間の埃を被ったトラックが、走ることもできず眠っています。



双葉町も静かなものでした。何となくモノクロームの町…。不思議な焦燥感を胸に、福島を後にしました。

2021年、この春、福島はついに10年目を迎えました。

春を待つ町：いつになれば放射能の影響から立ち直ることができるとでしょうか。

長野県軽井沢町…最近まで、仕事でよく出向いていましたが、福島からは遥かに離れているように見えますが、ここでは山菜が食べられます。未だにセシウムが出るからです。

福島の問題は私たち日本人全体の問題だと思えます。

『春を待つ町』は『春を待つ国』と言い換えることもできるでしょう。

あの時感じた焦燥感がいつか拭える日を願って、これからも歌を作っていきたいと思えます。

日本音楽協会!? 音楽運動!? 憲法大行動!?

日本音楽協会！音楽運動！憲法大行動！…

今どき、なんて堅苦しいネーミングなんだ!?

これはロックなのか?

…いや、間違いなくロックだ。

なにしろ50年以上にわたって、社会にメッセージを発し続けてきたんだぜ。

Punk is attitude.

これからもきっと、しなやかに、力強く、時に激しく、そして堅苦しく、歌い続けていくんだろう。

この国にこんなロックな団体があるなんて、最高だ。

島キクジロウ

(the JUMPS/NO NUKES RIGHTS)



第2回RMM開催します

スピーカーはBBB(ブービーバンド) お早の申し込みを!



日音協は、2月13日～14日に予定していた日音協セミナーと若い会員の交流会はいったん開催時期を夏場に移行したものの、感染症が沈静化することが見通せないことから中止といたしました。

コロナ禍の最中で、労働組合の集いや街頭演奏の機会など、演奏する場面が減少していることもあり、このままでは活動の停滞を招いてしまうことから、2月14日に続いてRemote Music Meeting (リモート・ミュージック・ミーティング) VOL.2を開催します。インターネットのZOOMミーティングを活用することで、自宅から直接参加することが出来るのです。

積極的な参加をお願いします。

1. 名称

Remote Music Meeting (リモート・ミュージック・ミーティング) VOL.2

2. 開催日時

2021年6月20日(日)
15時から17時まで

3. 開催場所

感染症拡大防止の観点から、参加者は自宅などからZOOMミーティングに参加する(オンライン)です。

4. 内容

ブービーバンド(日音協北海道支部)の演奏とトークを1時間35分にわたって繰り広げます。参加者でブービーバンドに質問したい方は、あらかじめ日音協あてご質問をお寄せください。

(nichion@yomogio.or.jp)

15時～15時5分 ミーティング開

会&リモート・ミュージック・ミーティング説明

15時5分～15時50分 ブービーバンド演奏&トーク

15時50分～16時 休憩

16時～16時50分 ブービーバンド演奏&トーク

16時50分～17時 まとめ、閉会

5. 費用負担

日音協は参加者に経費負担をお願いしませんし、参加者が参加するために必要な経費を負担しません。

6. 参加資格と参加申込

A. 日音協会員は誰でも参加できますが、日音協会員でなくても、日音協支部が紹介する方と日音協幹事会がとくに認める方が参加できます。

B. 事前に資料をお送りする都合から、できるだけ6月13日(日)までに参加申込をお願いいたします。6月13日までに申込のない方は一律に参加できないという趣旨ではありませんが、事前に資料を送ることができない可能性があることも、Aの条件にあう方かどうかかわからないときは当日ZOOMミーティングへのご入室をお断りする場合があります。

C. 以下のa～fの項目に記入の上、日音協あてお申込みください。

(nichion@yomogio.or.jp)

D. メールリングリストの参加者はメールリングリストあても構いません。または日音協事務所あてファクシミリでもお受けします。

(03-6369-3057)

a 名前

所属支部や所属組合・サークルがあれば、ご記入ください。

b 申し込み後の連絡方法

できればメールアドレスを記入いただき、メールリングリストへの参加をお願いします。

c 7のBの事前ミーティングに

参加する ② 参加しない

e 電話番号(ネットが繋がらないなどの緊急対応に使用します)

f その他(何か連絡しておきたいことがあればお書きください)

D. 申し込み頂いた方への連絡用に、メールリングリスト【日音協のリモート・ミュージック・ミーティングM】を立ち上げました。お知らせいただいたメールアドレスは、このメールリングリストに加えさせていただきます。尚、メールリングリストへの参加を希望しない方は申込書にその旨ご記入ください。

E. 支部に所属する会員についても支部を経由しての申し込みと限定しません。その場合、申し込んだ会員から支部役員へのご連絡をお願いします。

7. ZOOMミーティングURL

A. Remote Music MeetingのURLとミーティングID、パスワードはお申込みいただいた方に直接お知らせします。

B. ZOOMミーティングに慣れない人のために事前ミーティングを行う予定です。事前ミーティングのURLなどもお申し込みいただいた方に直接お知らせします。事前ミーティングは6月13日(日) 17時から17時30分まで

C. 6月20日(日)は14時45分から入室いただけるようにする予定です。

なのはなユニオン・キャラバン行動 駅前で演奏しました

千葉県支部の瓦井です。5月29日、なのはなユニオンのキャラバン行動があり参加して来ましたので報告します。

キャラバンは JR 柏駅東口に 9 時 45 分に集合して始まり、弁土から離れた所で歌っていると、僕と同じくらいの年代の男性が近寄って来て「あんた何時から歌っているの」と聞いてきたので、9 時 45 分に集合して歌っていますと答えました。その時に歌っていたのは「なのはなユニオン歌」「鉄の労働者」「働くために」「ねえ」「こころ自由にはなそうよ」でした。

彼はサクソやギターやカホンで一人の女子高生と駅前デュオをやっている写真をみせてくれたから「ねえ、誰々を知らない」と何度も聞いて来ました。

歌は他に「炭掘る仲間」「座りこめここへ」「なんだかんだあんだかんだ」を歌いました。

柏駅から松戸駅、市川駅、船橋駅まで行きましたが、船橋駅で腰が痛くて抜けさせてもらいました。

ずっと 30 代かと思われる男性も行動していましたが、彼は富士そばを解雇された労働者でした。僕のような機械職ではなく、お客さんと接する仕事でしょうか、言葉遣いが自然な丁寧さだったのが印象に残りました。

外出して歌うのは今年のいっとくフェス以来。時間帯のせいか電車は座れましたし混んではいませんでしたが、バスは途中からギュウギュウ詰め。皆さんマスクをして乗車されていました。歌っているとマスクが落ちて来て鼻が出てしまい、直し直ししながらでしたが、マスクを付けたまま歌うのは苦しいですね。

2021東京都支部総会 対面開催を見送り

例年2月に開催していた都支部総会ですが、感染症拡大を受け、今年度は5月23日に予定していました。

しかし、新たに出された緊急事態宣言、およびその延長に伴い会場が使用出来なくなったため、開催を見送らざるを得ませんでした。

やむを得ず議案書を全都支部会員に送付することで提案に代え、期限を決めて意見・修正案等の発言を求めているところです。出された意見はメーリングリスト等で共有していきます。

『経過報告』を書きながら、いかにコロナと場当たり政策に振り回されてきたかを改めて感じました。

そんな中でも途切れぬ思いを持ち続け、今年度の活動を進めていきたいと思えます。

(事務局長・森理子)



Periodista第23回企画公演
このみちをゆこうよ
—— 詩人・金子みすゞの生涯
作・演出：おだかすや(日本音楽協議会)
主演：北尾美祐・嘉穂悠里
5月23日(日)13:00よりピカイチTVにて配信
1500円 2週間視聴可能
ご予約：https://www.quartet-online.net/schet/periodista23?o=c00002e
ピカイチTV ポスターメーカー

5月23日織田さん企画で公演

5月23日(日)東京・下北沢で構成詩の公演を行った。一口に構成詩と言っても、その表現手法は様々である。文字通り複数の詩の朗読を組み合わせたものから、普通の演劇と変わらないものまで。今回とった手法は、詩の朗読と朗読劇を組み合わせ、構成詩としては割と昔からあるスタイルのものだった。

主演に北尾美祐・朗読者に嘉穂悠里というまだ無名の女優2人を起用したが、この2人が予想を超えて輝いてくれた。北尾は予想以上の金子みすゞ感を出してくれた。嘉穂は「詩の朗読」のイメージをガラリと変えてくれた。

内容は「詩人・金子みすゞの生涯」。彼女の美しい詩と、少女時代から死までの人生のドキュメンタリーを組み合わせた。金子みすゞは、山口県出身の私にとって、いつかは芝居にしたい女流詩人だった。26年の短い人生の間に500編以上の詩を残し、そのどれもが生あるものに対する優しいまなざしと、自然に対する鋭敏な感覚に満ちており、そしてそれを美しく表現する言葉でつむぎだされた作品群は、他では味わえない世界を作り出している。

だが、描きたかったのは詩の美しさだけでも悲劇だけでもない。その才能と優しさに満ちたみすゞが、どうして自ら命を断たねばならなかったのか。その原因は当時の日本の社会にあったと言っても過言ではないだろう。直接のきっかけとなった夫・宮本啓喜は許し難い存在だが、彼と当時の日本ではありふれた男に過ぎなかったはず。現代にも続くこうした問題を、みすゞの悲劇をそのまま描くことで訴えようと考えたのだ。

配信チケットは6月6日まで販売中です。先にTwitterアカウントの取得が必要ですが、それ自体は無料でできますので、ぜひご覧ください。

<https://t.co/6dDtatLU8i?amp=1>

(おだかすや)

今後の日程(予定)

- 6月20日 第2回RMM
- 6月27日 第8回幹事会
- 7月10日 2021年度全国代表者会議
- 7月11日 第9回幹事会
- 7月31日～8月1日

日音協セミナー2021 & 若い会員の
交流会(中止となりました)

- 8月9日 第10回幹事会
- 8月13日頃 音楽祭開催判断

11月13日～14日

第53回はたらくもの音楽祭

(沖縄・那覇市)

歌の力が物語るもの 97

官邸前反原発行動 4/30 (417回) 報告 Ricco

【参加者】乱鬼龍さん、みつえさん、ながせさん、モリヤさん、イサさん、ようこさん、はしゆきさん、坂口、達哉、「ミネツチ、森」(11名)

菜葉坂で旗を立て準備をしていると、警察官が寄ってきた。「ここで何をしていますか?」高圧的ではないものの、ただでは通さぬというつもりか。「歌を歌います」にっこり答えて、そのまま準備を進める。まだ何か言いかけてきた

が、そこに経産省前行動から移動してきたイサさんたちが到着して、一筋縄ではいかないぞーという雰囲気を出して女性ばかり5、6人が、文字通りぐるりと警察官の後ろを取り囲んだ。たった一人だと思っていたのにおとつと、といった表情の警察官。「この人たちはね、もう10年も毎週ここで歌っているよ、何も問題ないわよ」。イサさん、ちょっと盛ってます。警察官はたじろいで、終了予定時間を聞いて立ち去った。

今日は憲法集会用のリモート合唱撮影も行ったため、モリヤさんが経産省前の仲間を誘ってきてくれた。撮影は坂口さんが到着してからだから、まず歌おう。『フクシマをくりかえす

な』『メッセージ』『あたりまえの地球』『私たちの暮らしは私たちが決める』。初めての参加の人に達哉が歌詞ファイルを見せていた。リモート合唱の音源を聞きながら「沖縄今こそ立ち上がろう」も練習した。慣れないテンポや間に戸惑いながら。

坂口さん到着。撮影を始める。薄暗くなってきたのはいたが、カメラの性能は問題なく表情を捉えてくれそう。音源を小さめに流し、元氣よく歌う。国会議事堂をバックにしたバージョンも撮影した。出来上がりが楽しめた。

撮影が終わると何人かは場を離れていった。金曜夜の国会周辺は行動が多い。乱鬼龍さんも川柳のボードを掲げながらそれらをまわるのだ。私たちは菜葉坂行動を続ける。『シユゴンのすむ海』『風車の唄』。はしゆきさんのリコーダーが伴奏を華やかにしてくれる。

『水に流すな』を歌った。笠木透さんの作詞で、「水に流すなよ 海を汚すなよ 私はずかしい」という歌詞は、なんて今にぴったりなんだろう。汚染水処理水と言いつつ、海に流そうとする。世界に続く海に流すのだ。なんて恥知らず

な行為。整備も警備もいい加減で規制委員会にすら「なめてるのか」と言わしめた東電の、どの「安全」を信じろというのだ。政府も同じ。責任も取らず解決の努力もせず記録も改竄ばかりで、安全や保障のための予算は惜しむ現政権の、どの「大丈夫」が信用できるというのか。最後は『原子力発電NO!』にした。ここで、通りすがりの

菜葉坂つた行動 5/7 (418回) 報告 Ricco

【参加者】イサさん、ようこさん、なべさん、はしゆきさん、モリヤさん、ヨネさん、達哉、「ミネツチ、森」計9名

雨。長くは降らないとの天気予報を信じて「ア」を持って出たが、地下鉄の駅を出るとしつかり降っていた。菜葉坂の前に、経産省前の行動に参加した。経産省前の脱原発テントは撤去されたが、その後もずっと交代制で座り込みは続いている。そして毎週金曜日17時〜18時の抗議行動。今日は雨にもかかわらず、50名ほどが参加されていた。

経産省前で久しぶりにヨネさんに会った。「あつち菜葉坂で歌うの?」と尋ねられ、「歌いますよ」と答える。ヨネさんは楽しみにしていてくれたのだ。経産省前行動参加のモリヤさん・イサさん・はしゆきさんも一緒に菜葉坂を上った。菜葉坂に到着。まだ雨。楽器

カップル?が私たちを見て立ち止まった。「原発反対の歌を歌っています。良かったら聞いていって。」と声かけると二人ともこちらを向いて聞く体勢。観客を得て、がぜん燃えるうたいたい。元氣よく歌い上げた。規制やら自粛の強制やらで辟易する日々だけど、気持ちを保つていこう。菜葉坂に来る人も来られない人も。

を出そうか出すまいかとしはし逡巡。「ヨネさんとおしゃべりしながら空を伺う。」なんてこの機に改憲かね「国民投票法案、立憲民主党の提案どう思う?」「知ることが遮られている。報道も少ない。野党は報道の不足を補って、もっと外に出て訴えろよ」等々。曇天の薄暗さに国会議事堂のライトアップが始まった。あの中で、己は守られながら社会をどうしようとしていっているのが腹立たしい。おしゃべりしているうちになんと雨が止んだ。やった! 楽器を準備して歌い始める。

『私たちの暮らしは私たちが決める』『明日を殺すな』『メッセージ』。モリヤさんは初めての歌にも懸命にコードを追いかけてくれる。はしゆきさんのリコーダーも同じだ。経産省前でモリヤさんの歌った『水に流すな』は圧巻だった。それを歌おう。くりかえしの部分の確

認をする。汚染水を処理水と偽って海に流そうとする今、この歌は沁みる。そして『フクシマをくりかえすな』。国会議事堂に聞かせようと歌う。ようこさんのリクエストの『ああ福島』はとてもきれいな曲。武藤類子さんの詩に李政美さんが曲をつけた。ゆるさとほゆるさとなんだ。それなのに『愛国心』を謳う奴らは、「『国』の一部にすぎない」と踏みつけ利用しようとする。憲法もだ。ベートーベンの第九の替え歌の『はばたけ憲法九条』、市野さんの『決意』。私たちに問われる『決意』。なべさんのリクエストで『あたりまえの地球』『そんな世界が一番』。「明日が来るのが楽しみになる。そんな世界が一番」ここが好き。閉塞感の続く日々、我慢ばかりが強いられて不安を払しょくする政策はちっとも出てこない。

今日も警察官が寄ってきた。「何時までやるのですか?」「19時半までです(ニッコリ)」。何か圧をかけたくて仕方ないのだろう。この次は看板でも作ってこようか。「うたいます 反原発・反基地・反改憲いろいろ抗議 18時半〜19時半」なんてどうだろ。何か聞いてきたら「書いてあるよ」と言っている。

最後に『沖縄今こそ立ち上がろう』を歌うとまた雨が降ってきた。急いで撤収。また来週!

茱萸坂つた行動 5/14 (419回) 報告 Riico

【参加者】 イサさん、ようこさん、はしゆきさん、モリヤさん、坂口、達哉、コミネッチ、森 計8名

今日の報告は特筆事項のみ。でも大事だからみんな覚えておきたい。

歌い始めてまもなく、警察官が来る。一番端にいたイサさんに声をかけてきた。「何をしているのですか?」「歌っています。「歌ならいいが、声を上げるとダメです。」「ここではもう何年も、毎週歌っている。知らないの?あんな新人?」警察官は一度離れてどこかに連絡している。「麹町署に問い合わせました。歌を歌うなら国会前庭のほうに行ってください。」

そこでモリヤさんが「護符のように持ち歩いている」という『日本国民救援会』の「J」を取り出し読み上げた。

「A. 宣伝行動に警察の許可はいりません。」
『街頭や駅前で宣伝行動をしていると、「道路交通法の()許可をとっているか」と警察が干渉してくることあります。道路交通法で許可が必要なのは、お祭りや映画

のロケ、工事など交通に著しい影響を与える場合です。宣伝行動に許可が必要ないことは、裁判で確定しています(有楽町ヒラ事件)。また、ヒラ配りをしてきた人を警察官が逮捕したことに賠償が命じられています(東金国賠裁判)。さらに、明治乳業争議団の街頭宣伝を警察官が妨害したことを、警視庁が誤りを認め謝罪しました。不当な干渉には、「許可は必要ない」と抗議します。』

それを聞いた警察官は「そうですね、そういう判決出ていましたよね。わかりました。」と立ち去った。護符、すばらしい。自由と民主主義を守るのには小さな一歩の積み重ね。正しく抗議し続けたい。

しばらくしたら、また警察官が戻ってきた。「麹町署に問い合わせたところ、問題ないとのことでした。」と報告に来たのだ。「わざわざそれを伝えるにきてくれたんですか?」「いや、お話し伺ったので、ちゃんとお返ししないと...。偉い!警察官はこうでなければ!見直したよ!イサさんがすかさず「女性ばかりだから(コミネッチはまだ来ていなかった)守ってね。」これには警察官だけでな

く私も笑ってしまった。警察官は笑顔で「違う声が聞こえてきたらすぐに来ますよ。あちらのへんにいるので、何かあったら呼んでください。」と言う。誰かに絡まれたりしたら助けに来てくれるようだ。

沖縄の『復帰』の日が目前。いつもなら沖縄の平和行進に参加していた。沖縄戦が激戦化していった季節でもある。国会議事堂に向かって、沖縄で歌うはずだった歌をたくさん歌った。

茱萸坂つた行動 5/21 (420回) 報告 Riico

【参加者】 達哉、森、望月 計3名

雨が降ったりやんだり。でも夜からは『曇り』予報が出ている。ぎりぎりまで迷いながら、小やみになったのを見て、アコを持って出かけた。国会議事堂前駅から地上に出ると、本降り。駅出口の軒下で、合羽を着こんで茱萸坂に向かう。

だれもいない。楽器を出せる状況でもなく、アカペラで歌い始めた。『あたりまえの地球』『私たちは許さない』『双葉の秋』『ふるさと沖縄』...。国会前庭方面をうろうろしてきた達哉が戻ってきて「民衆の歌の



タリストもひとりやってきて、総勢5人で歌った。ここは歌う曲を決めているのだが、『スガさん、今すぐさようなら』と『ふるさと沖縄』も特例で歌わせてもらった。

ところに中尾さんがいたよ。」と教えてくれた。今日は第3金曜日。コロナで行動は呼びかけられていないが、世話役の中尾さんがひとり来ていているらしい。達哉はそそくさとそちらに向かう。

19時を過ぎて誰も来ないので、中尾さんに合流しようと思動し始めた。すると駅の方から望月さんがやってくるのが見えた。ふたりで国会前庭の『民衆の歌』の場所に行く。達哉が格好つけながらギターを鳴らしている。こいつめ、母ちゃんのところでは歌わなかったかに。そのうちちゃんとしたギ



水道橋 だより

▼『官邸前反原発行動』は5月から『茱萸坂うた行動』と名前を変え、反原発に限らずいろいろ歌い続けることにしました。(森)

▼今号は『うたいたい』の報告を、4面と5面に掲載しました。原稿がなくて全部載せたなと感じる方もいるかと思いますが、この状況下で頑張っている姿を全国の皆さんに紹介したいと思い掲載しました。茱萸坂行動に参加すると、「佐藤さん、次、なんか歌って！」と無茶ぶりはされますが、無理強いはされません。今度来るときは何か用意してこようと心に秘めて帰路につきます。なかなか東京に行く機会もなくなりましたが、ワクチン接種も6月30日に2回目が終わる予定ですので、状況を見ながら顔を出したいと思っています。よろしく。(佐藤)

▼第2回 RMM の担当・後藤幹事よりのお願い。スピーカーの BBB は5月に入って、準備の練習に入っている(予定)とのこと。まだ周知不足なのか正式な参加申し込みは3名だけなので、遠慮せずにとどしと申し込んでもらえれば嬉しいです。よろしくをお願いします。(佐藤)



名護市の安和鉾山

コロナにかい負きつらさ

沖縄県支部 平良 昌史

新型コロナウイルス感染症は、感染力が強く重症化しやすい変異ウイルスにより、先の見えない状況が続いています。昨年末から沖縄音楽祭開催に向け、東盛連合沖縄会長と意見交換をしながらコロナ禍でも開催可能な会場探しを行い、連合や市民団体と音楽での関わりを深めることも行ってきま

た。那覇市役所前で毎週水曜日にハイトスピーチを阻止するカウンター活動を行っている市民団体の前で3・11に合わせ「春よ」「手と手」を歌いました。県民広場前で南部の土砂を基地の埋め立てに使われ

ない運動とも連携しました。3月13日の「連合那覇南部地協2021春闘決起集会」の前段で春闘の歌を4曲歌いました。市民の方や懐かしい先輩職員から声を掛けてくるなどの交流もありました。東京の森さんから依頼で、5月連休中に山原



連合南部地協春闘集会以演奏

の海と安和鉾山の写真を山城と2人で撮りに行きました。森さんが製作したミュージックビデオはすばらしい出来です。沖縄は4月から蔓延防止、その後緊急事態宣言と「沖縄平和行進」も2年連続中止となりました。各種集会やイベントが中止やオンラインに変わる中、11月13日、14日の沖縄音楽祭が近づいてきます。国民の命よりオリンピック、コロナ感染対策も後手後手で神頼みの政府、国民の静かな怒りが世論調査に現れています。活動が難しくても、今何が出来るのかを模索する日々です。全国の仲間の皆様、音楽運動マジユンちばらなやーさい!



沖縄ハイトスピーチカウンターの皆様と連帯

どん行

(143)

飯島貞親

利益主義の論理が家族の共同体に当てはまらないように公的タブルの領域があることを忘れてはいけない。

▼日本のワクチン接種が大幅に遅れているため日本経済への打撃が心配されている。日本を除く主要先進国では、急ピッチでワクチン接種が進む予定であり、経済は劇的に回復する可能性が高い▼新しい薬を作るには、100億円くらいかかり完成まで10年は必要と言われている。2003年のSARSでは国際的なパンデミックになると予想されていたが、結果的に抑え込むことに成功した。収束した病気の薬を作っても売れないのでSARSの治療薬は未だにできていない。SARSは新型コロナウイルスに似ているこの治療薬ができていけば使えたかもしれない。開発が簡単だったかもしれない。新型コロナウイルスはパンデミックになっているから、薬を作れば必ず売れるので世界中の製薬会社が全力をあげている▼「コロナ禍がこのタイミングで良かったね」と、2019年に公立病院の効率が悪いことを理由に400もの病院を統廃合する計画を指して囁かれていた。もし統廃合が終わった後で感染爆発が起きていたらとても対処できなかったらどうと▼利益誘導概念が当たり前になり公的部門にも経営理念が強化されてきた。企業の